

長山 洋史 (大学院保健福祉学研究科兼務)

1 著書

- 1) 能登真一他編, 作業療法評価学第4版, 「日常生活活動の評価」執筆, 東京, 医学書院, p196～219

2 学術論文

- 1) I Ikeda K, Kaneko T, Uchida J, Nakamura T, Takeda T, Nagayama H. Identifying profiles of stroke patients benefitting from additional training: a latent class analysis approach. *J Rehabil Med.* 2024 Feb 21;56:jrm22141. doi: 10.2340/jrm.v56.22141.
- 2) Kaneko T, Nagayama H, Ikeda K, Nakamura T, Niimi A, Inoue N, Takeda T, Uchida J. Cost-effectiveness of occupational therapy for older adults: a protocol for an updated systematic review. *BMJ Open* 2023;13:e079318. doi: 10.1136/bmjopen-2023-079318
- 3) Junya U, Moeka Y, Hirofumi N, Tomori K, Ikeda K, Yamauchi K. Prediction of Overall Patient Characteristics that Incorporate Multiple Outcomes in Acute Stroke: Latent Class Analysis. *medRxiv* 2023:2023.05.24.23290504. doi: 10.1101/2023.05.24.23290504 (Preprint)
- 4) Nakamura T, Koyama S, Nagayama H, Sasada S. Participation questionnaire for preschoolers with autism spectrum disorder: content validation and item development. *medRxiv* 2023:2023.08.22.23294206. doi: 10.1101/2023.08.22.23294206 (Preprint)
- 5) Nakamura T, Nagayama H, Sasada S. Development and Validation of the Participation Questionnaire for Preschoolers with Autism Spectrum Disorder: A Focus on Structural Validity, Internal Consistency, and Construct Validity. *medRxiv* 2024:2024.02.13.24302559. doi: 10.1101/2024.02.13.24302559 (Preprint)
- 6) Izumi R, Noto S, Nagayama H, Sano T, Takizawa H, Tsukakoshi D. Degree of coincidence of the change in health-related QOL in the recovery-phase rehabilitation ward and the proxy's response: Evaluation of patients with musculoskeletal disorder by EQ-5D-5L, 31 January 2024, PREPRINT (Version 1) available at Research Square [<https://doi.org/10.21203/rs.3.rs-3889431/v1>] (Preprint)
- 7) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川 学, 高橋恭子, 水戸優子. 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. *保健医療福祉連携*, 2023, 17(1), 2-13.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法協会学術誌「作業療法」査読者
- 2) 日本臨床作業療法学会誌 論文査読委員
- 3) 日本作業療法士協会 組織的学術研究体制ワーキンググループ 委員
- 4) 日本作業療法学会 演題査読委員
- 5) The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 Reviewr

- 6) 日本老年療法学会 評議員
- 7) 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

5 社会貢献

- 1) Archives Physical medicine and Rehabilitation (国際誌), Topics in Stroke Rehabilitation (国際誌), 作業療法 (国内学会誌), の査読.
- 2) 高校への専攻説明出張 1校
- 3) オープンキャンパス 2日間
- 4) ミニオープンキャンパス 企画運営

7 学会等での活動

- 1) 第 57 回日本作業療法学会
教育講演 2 「臨床研究のデータ解析～回帰分析について～」
講師：新谷歩
座長：長山洋史
- 2) 第 10 回日本予防理学療法学会
オーガナイズドセッション「介護予防教室や地域活動に参加できない人へのアプローチ」
座長：長山洋史
- 3) 長山洋史,内田順也,山田萌加,池田公平,友利幸之介.急性期脳卒中患者の全体像予測モデルの開発-潜在クラス予測モデルによる予後予測-. 第 60 回日本リハビリテーション医学会 (福岡), 2023
- 4) 井上那築, 長山洋史.回復期リハビリテーション病院における ADL 訓練と対象特性の探索的研究-潜在クラス分析での検討-. 第 57 回日本作業療法学会 (沖縄), 2023
- 5) 泉良太, 佐野哲也, 能登真一, 長山洋史, 滝澤宏和. 回復期リハビリテーション病棟運動器疾患患者における健康関連 QOL の変化と一致度の解明. 第 57 回日本作業療法学会 (沖縄), 2023
- 6) 島田岳, 森元隆文, 長山洋史, 小林正義. 統合失調症の認知機能に対する個別作業療法：ランダム化比較試験. 第 57 回日本作業療法学会 (沖縄), 2023
- 7) 中村拓人, 長山洋史, 笹田哲. こどもの参加質問紙：自閉スペクトラム症児の疾患特異的参加測定ツールの開発. 第 57 回日本作業療法学会 (沖縄), 2023
- 8) 渡邊 恵, 長島 俊輔, 玉川 淳, 志村 華絵, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 岸川 学, 高橋 恭子, 水戸 優子. 多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ. 第 1 回ヒューマンサービス学会学術集会講演抄録集(pp.15-16), 神奈川県. 2023

8 学内教育活動

- 1) 大学院前期博士課程 1名 副指導教員
- 2) 身体機能評価学Ⅰ 科目責任者
- 3) 身体機能評価学Ⅱ 科目責任者

- 4) 評価学演習 科目責任者
- 5) 運動学 科目責任者
- 6) 作業療法概論
- 7) 地域作業療法学
- 8) 日常生活活動論
- 9) 研究法
- 10) 機能障害作業療法学
- 11) 機能障害作業療法学演習
- 12) 学部1年生担任

9 学内各種委員会活動

1) 研究倫理審査委員

本年度より、倫理審査委員として、研究倫理審査に携わっている。2023年度 治験・倫理審査委員会委員研修（国立がん研究センター）修了。

2) アドミッションセンター分析部門委員

分析部門委員として、コンサルによる専攻別講義1回、学科別講義1回を開催した。また、専攻内でのコンサルへの質問依頼の受付などを担当した。

3) 専攻内入試広報ワーキンググループ委員

月1回程度、専攻内で入試広報などについて委員として参加した。

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 B:「脳卒中患者の全体像予測システムに基づくリハビリテーション治療戦略」研究代表者
- 2) 基盤研究 C:「効果的な児童発達支援には何が必要か:評価指標の開発と促進因子の抽出」分担研究者
- 3) 基盤研究 C:「臨床現場の医療従事者のための Interprofessional Education プログラムの構築」分担研究者